

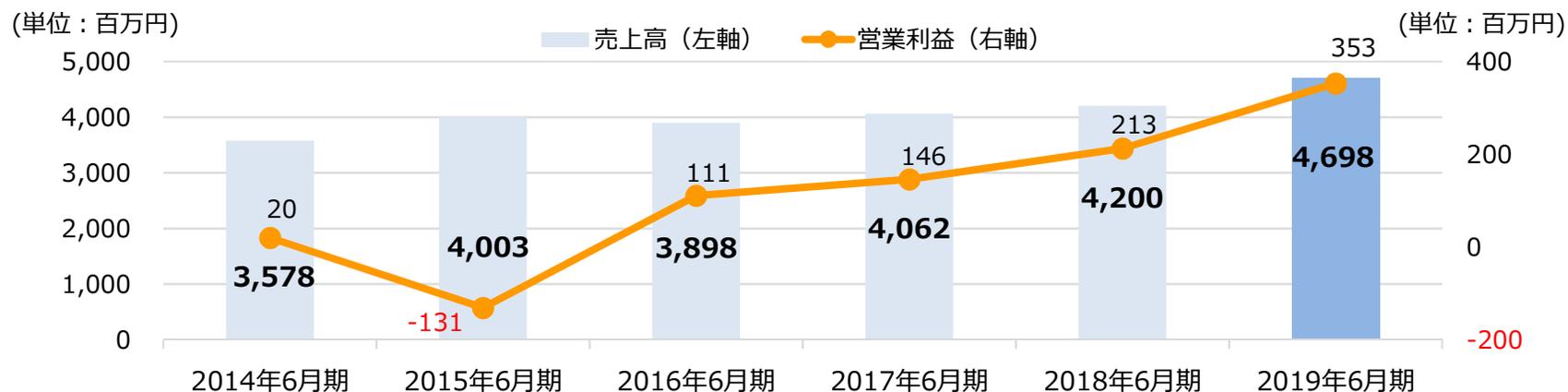
2019年6月期（第28期） 決算ハイライト

2019年8月2日
アクモス株式会社

目次	■ 連結業績推移……………	2	■ 2020年6月期業績予想……………	18
	■ 2019年6月期 総括……………	3	■ 株主還元……………	19
	■ 連結営業利益分析……………	4	■ 対処すべき課題……………	20
	■ 連結売上高・営業利益推移……………	5	■ 参考資料……………	21
	■ 連結キャッシュ・フロー推移……………	6	・アクモスグループ事業	
	■ 連結財政状態……………	7	・アクモスグループ一覧	
	■ セグメント情報 ITソリューション事業…	8	・連結貸借対照表	
	■ セグメント情報 ITサービス事業……………	9	・連結損益計算書	
	■ 長期ビジョン2025・中期経営計画 I …	10	・連結キャッシュ・フロー計算書	
			・単体貸借対照表	
			・単体損益計算書	

連結業績推移

- 4期連続で増収増益
- 中期経営計画 I (2016/07~2019/06)の経営目標を達成



	2019年6月期		
	実績	当初業績予想 (2018/8/3発表)	中期経営計画 I 目標 (2016/8/4発表)
売上高	4,698百万円	4,350百万円	4,500百万円
営業利益	353百万円	225百万円	270百万円
経常利益	354百万円	230百万円	290百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	250百万円	170百万円	230百万円
株主資本利益率(ROE)	15.0%	11%以上	12%以上
時間当たり付加価値	3,425円	3,200円	3,300円

2019年6月期 総括

連結業績

売上高 4,698百万円、営業利益 353百万円、経常利益 354百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 250百万円

- 非連結子会社を吸収合併したことによる抱合せ株式消滅差益14百万円計上、来期に予定している修繕費用16百万円を引当金として計上
- 中期経営計画 I (2016/07~2019/06)の業績目標を達成

セグメント別事業の概況

ITソリューション事業 [売上高 4,215百万円、営業利益 342百万円]

SI・ソフトウェア開発分野

- ・良好な受注環境のもとパートナー活用とともに稼働率を高め、生産性向上に取り組む
- ・システムエンジニアリングサービスで複数のお客様において取引が伸長し、受託開発も公共系の取引が好調で売上高は前期比23.3%増

IT基盤・ネットワーク構築分野

- ・他社グループウェア製品やOffice365製品の導入・運用支援を強化
- ・自社セキュリティ製品の開発、営業展開を推進
- ・医療系のシステム構築、病院内システム運用はともに好調

ITサービス事業 [売上高 522百万円、営業利益 43百万円]

情報処理サービス分野

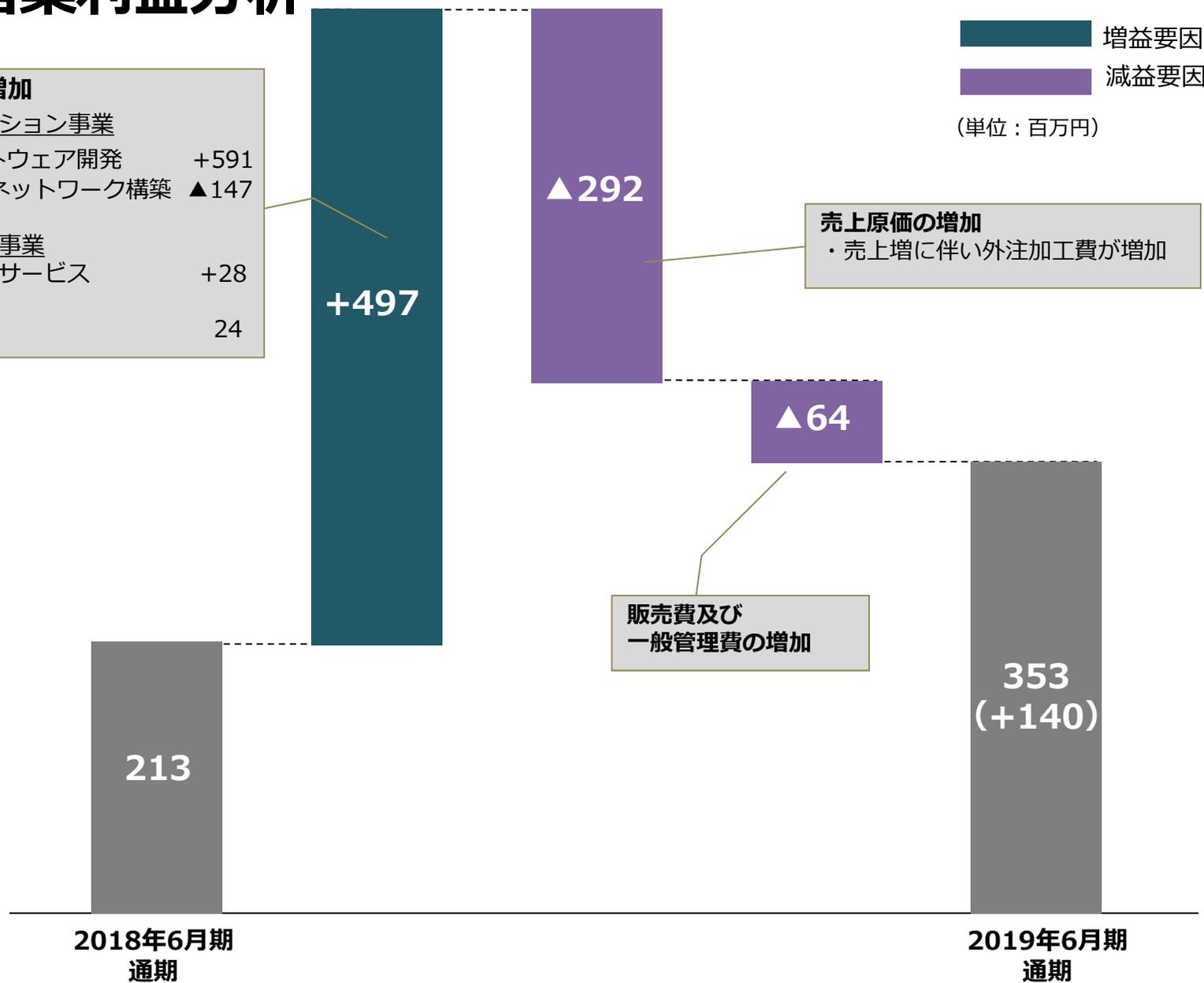
- ・企業向けアンケート集計等の受注増により売上が増加するも原価も増加
- ・自社健康関連サービスの創出や改良、営業展開に注力

株主還元

- 期末配当は当初予想の1株当たり4円を上回る、1株当たり5円を予定

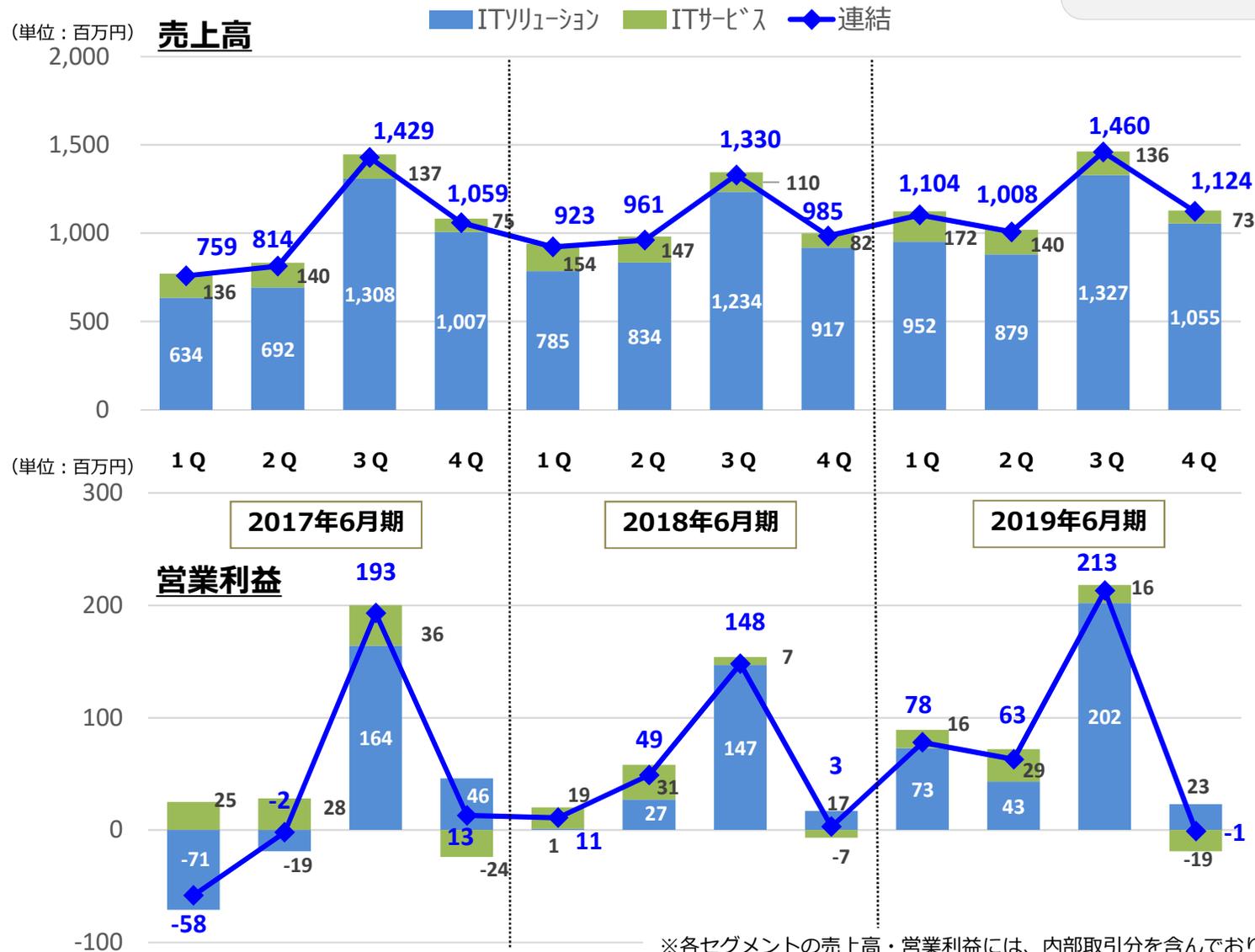
連結営業利益分析

売上高の増加	
ITソリューション事業	
SI・ソフトウェア開発	+591
IT基盤・ネットワーク構築	▲147
ITサービス事業	
情報処理サービス	+28
調整額	24



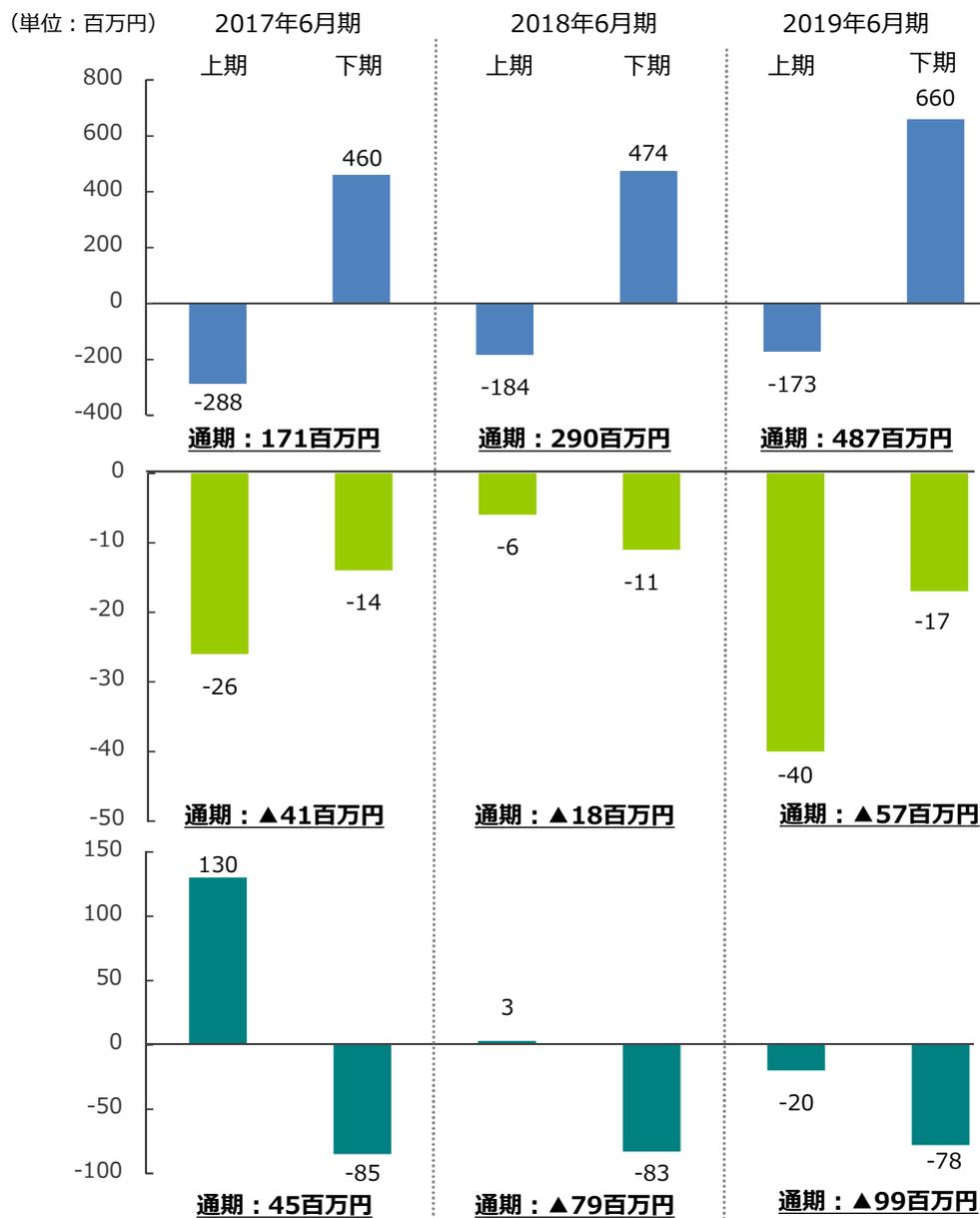
連結売上高・営業利益推移

国内法人顧客の多くが3月決算であることから、3月末にあたる第3四半期末において、売上が多く計上される傾向があります。



※各セグメントの売上高・営業利益には、内部取引分を含んでおります。
連結の数値は、内部取引相殺後となっております。

連結キャッシュ・フロー推移



営業キャッシュ・フロー 487百万円

- ・法人税等の支払額 ▲53百万円
- ・売上債権の増加 ▲31百万円
- ・たな卸資産の減少 28百万円
- ・税金等調整前当期純利益 366百万円
- ・減価償却費 45百万円

ITソリューション事業は、下期の3月末の売上計上が多く、下期において売掛金を回収するために、営業キャッシュ・フローが下期に増加する傾向にあります。

投資キャッシュ・フロー ▲57百万円

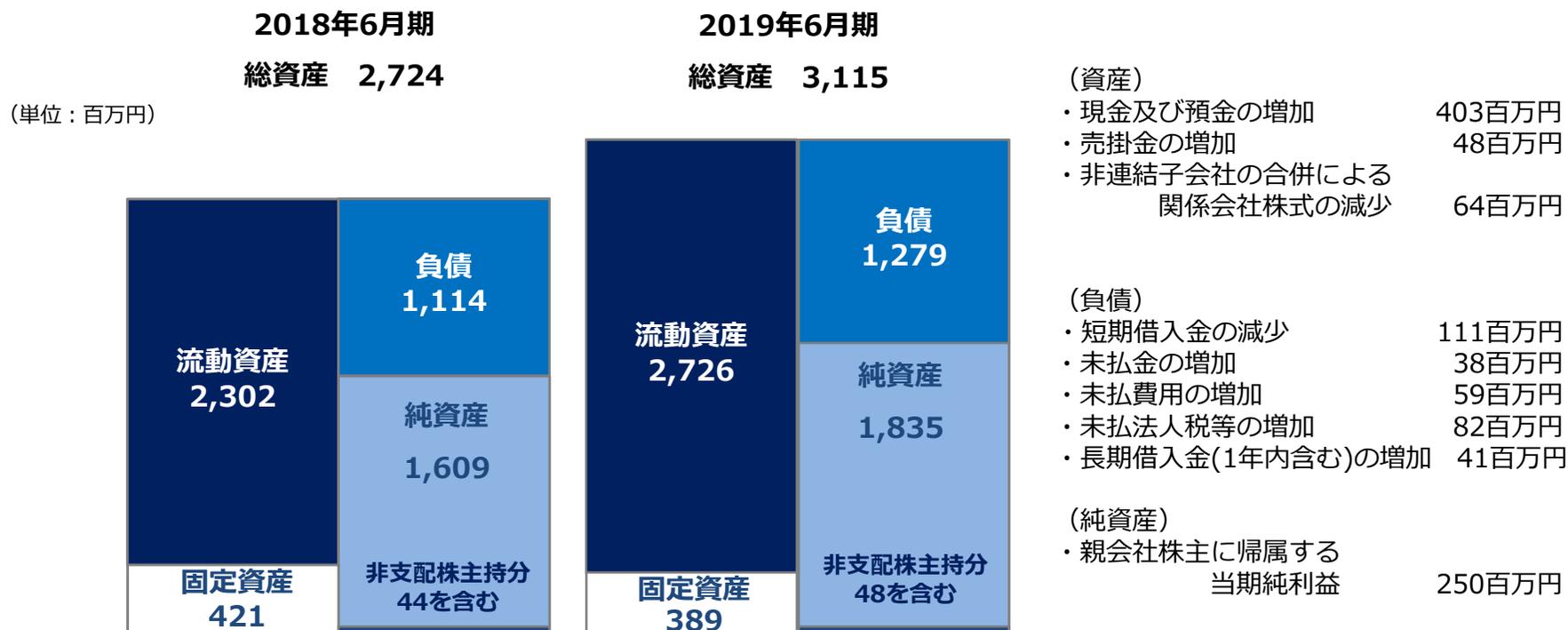
- ・有形固定資産の取得による支出 ▲19百万円
- ・無形固定資産の取得による支出 ▲32百万円

財務キャッシュ・フロー ▲99百万円

- ・長期借入による収入 150百万円
- ・配当金の支払額 ▲28百万円
- ・短期借入金の返済による支出 ▲111百万円
- ・長期借入金の返済による支出 ▲108百万円

連結財政状態

総資産は前期比で増加。自己資本比率は57.4%



(単位：百万円)

	2018年6月期	2019年6月期	増減
設備投資 + 研究開発費	38	63	24
減価償却費	48	45	▲3
有利子負債	323	253	▲69

セグメント情報 ITソリューション事業

SI・ソフトウェア開発分野の売上が前期比で23.3%増加し、増収増益

(単位：百万円)

	2018年6月期 通期	2019年6月期		
		通期	増減額	増減率
売上高	3,771	4,215	443	11.8%
外部	3,707	4,175	468	12.6%
内部	64	40	▲24	▲38.0%
営業利益	192	342	149	77.5%

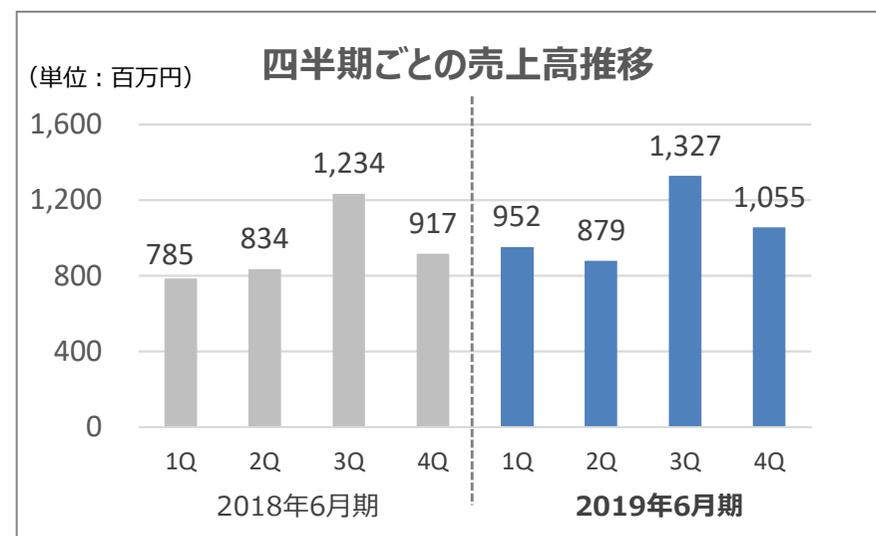
事業の概況

●SI・ソフトウェア開発分野 [売上高3,133百万円]

- ・システムエンジニアリングサービスは、前期から続く企業のシステム更新案件をはじめ高水準で稼働。
- ・受託開発は、公共システム向け大型表示板の納品や、地方自治体のシステム更新案件等があり好調。

●IT基盤・ネットワーク構築分野 [売上高1,081百万円]

- ・他社製品であるグループウェアdesknet's NEOやOffice365の導入・運用支援業務の受注を強化。
- ・自社のセキュリティ製品、標的型攻撃メール対応訓練ソリューションの営業と更なる開発を推進。
- ・医療系システム関連は、仮想化基盤構築や新システムへのデータ移行、新規運用支援業務等を受注し、順調に推移。



セグメント情報 ITサービス事業

アンケート集計等の受注増により売上とともに原価も増加し、営業利益は減少

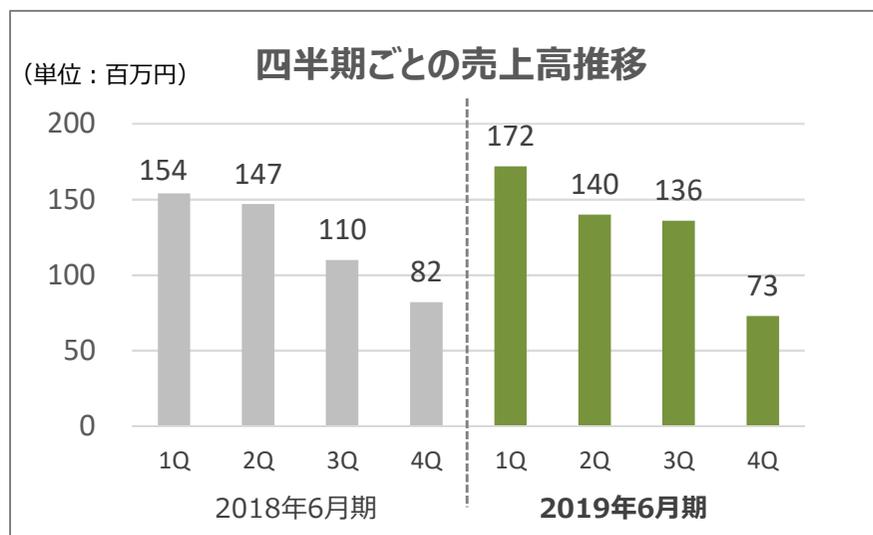
(単位：百万円)

	2018年6月期		2019年6月期	
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	493	522	28	5.8%
外部	493	522	29	5.9%
内部	0	0	0	-
営業利益	51	43	▲8	▲16.1%

事業の概況

● 情報処理サービス分野 [売上高522百万円]

- ・企業向けアンケート集計等の受注が増えたことにより、売上が増加するも、外注費など原価も増加。
- ・企業の健康状態診断サービスやクラウド型健康管理システムを、ストレスチェック業務の請負とともに営業展開。



長期ビジョン2025

中期経営計画 I (2016/07~2019/06)

長期ビジョン2025

私たちは輝くICTサービスで社会の向上に貢献します。

目指すべき方向性

1. アクモスグループは、きらりと光るICTサービスを提供して持続的な成長を実現します。
2. アクモスグループは、個性豊かな企業集団を目指します。

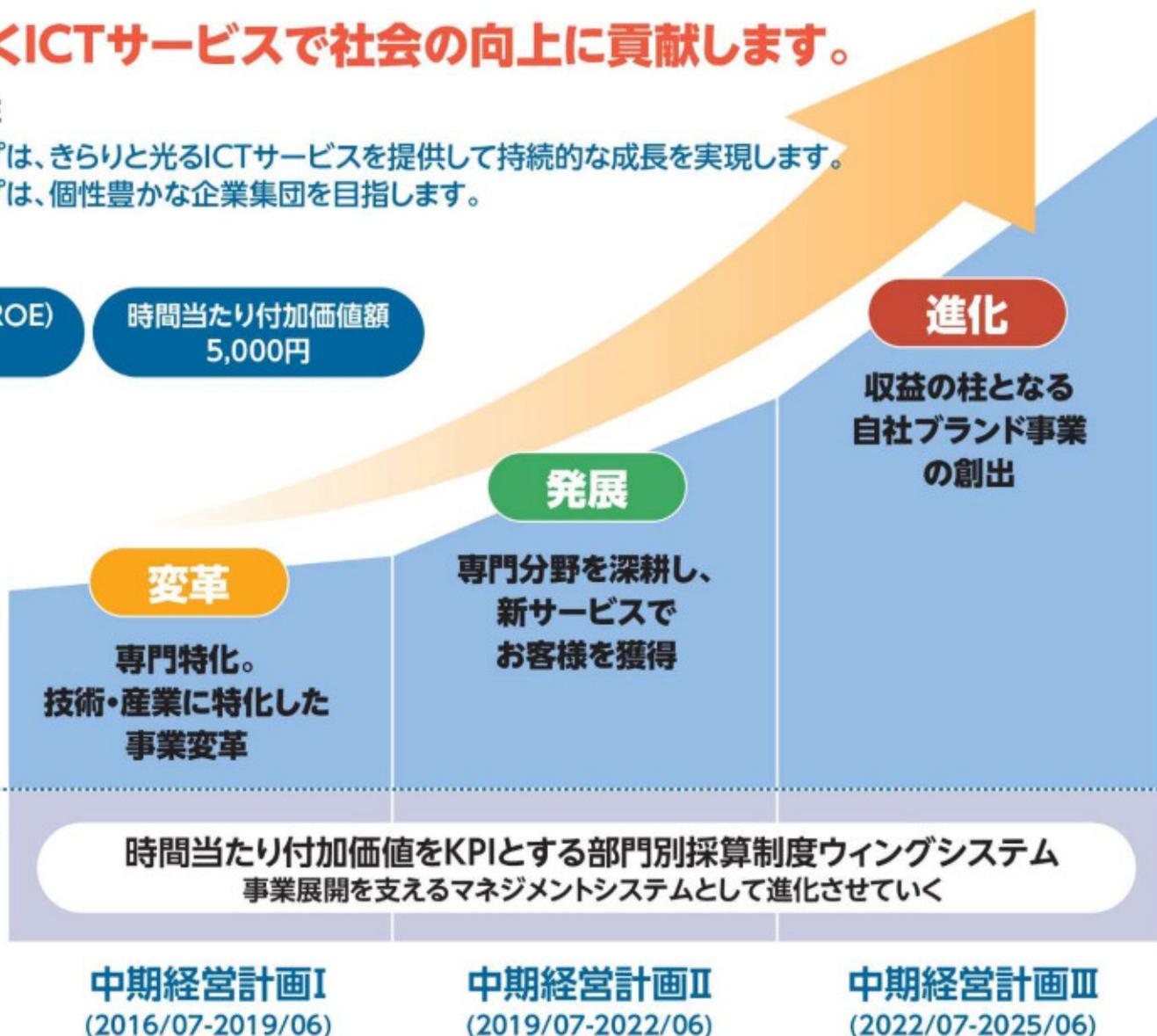
長期数値目標

株主資本利益率 (ROE)
15%

時間当たり付加価値額
5,000円

持続的成長
プロセス

マネジメント
システム



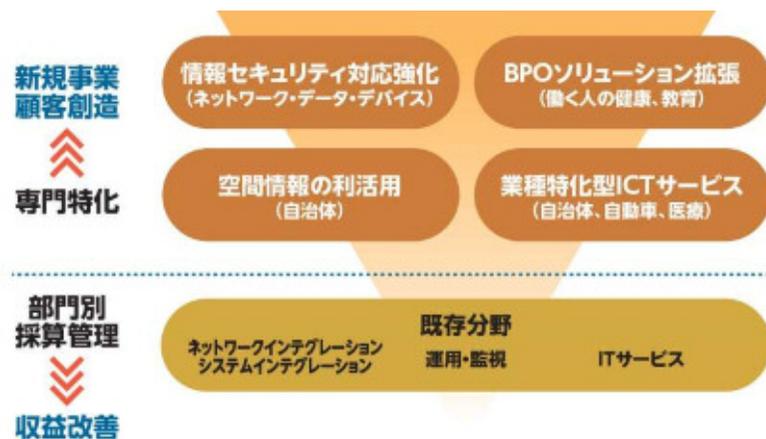
中期経営計画 I (2016/07-2019/06)

変革

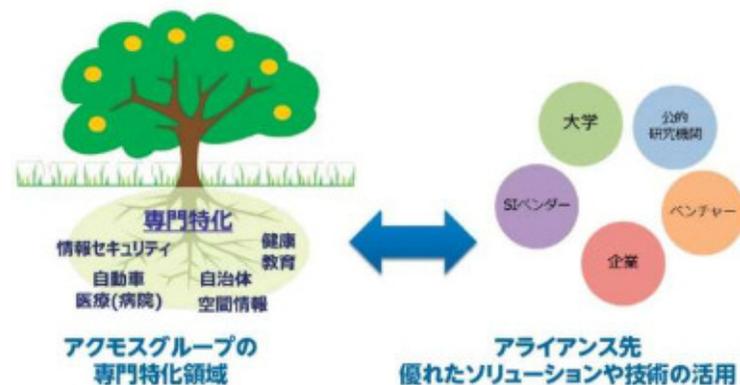
産業や技術分野等の対象を深耕し、当社グループの技術を生かしたソリューション、サービスを提供する専門特化による事業変革を進めます。

事業戦略

専門特化による顧客創造、
お客様とのパートナーシップ醸成を目指す



オープンイノベーション志向によるアライアンス推進
専門特化の対象となる分野では、アライアンスを活用し、
新サービスの創造を促進



組織戦略

部門別採算管理の浸透、全員参加経営の実現に
よる付加価値増大を目指す

- ・部門別採算制度ウイングシステムのグループ企業への拡大

人材育成

専門性の高い多様な人材の育成を目指す

- ・事業戦略に沿った資格取得の推進
情報セキュリティ関連資格、医療情報技師、技術士、測量士など

中期経営計画 I (2016/07-2019/06)総括

専門特化①情報セキュリティ対応強化

セキュリティ関連製品の創出とアライアンスを活用した拡販に注力
情報セキュリティ分野への専門特化にむけ一歩を踏み出す

セキュリティ製品の開発

- ・2017年6月 2製品を提供開始
超高速秘密分散ソリューション(API)「**SYMPROBUS Divide API**」
標的型攻撃メール訓練ソリューション「**SYMPROBUS Targeted Mail Training(TMT)**」
- ・2017年11月 TMTクラウド版を提供開始
- ・2018年9月 標的型攻撃メール対応 継続訓練ソリューション「**SYMPROBUS CoTra**」提供開始

セキュリティ関連業務へのシフト

- ・TMTは代理店を通じた大手企業への営業展開や展示会出展、Webによる販促などに注力
契約更新分も含めて延べ38社に導入、アカウント数は累計5万超(2019年6月末現在)
- ・パートナー企業の製品を活用した、ネットワークインテグレーション分野の営業活動を推進
- ・茨城地区で情報セキュリティ無料診断を開始



中期経営計画 I (2016/07-2019/06)総括

専門特化②業種特化型ICT(自動車、医療)

協業先との連携により新規顧客開拓や案件受注を進め、
人材確保と品質向上に注力して着実に規模を拡大

医療系システム構築

- ・ベンダーと協業で病院の仮想化基盤案件を受注
- ・国立病院機構のネットワーク新基盤(HOSPnet)等の新システムへのデータ移行業務を受注

病院内情報システム運用管理

- ・電子カルテ大手との協力関係を構築するなど、新規受注を進める
2016年6月14病院 ⇒ 2019年6月現在25病院

中期経営計画 I (2016/07-2019/06)総括

専門特化③空間情報の利活用

アライアンスによる自社製品開発を進め、異業種・異業界にむけたシステムの提供を開始

自社製品開発

- ・主力製品である地理情報戦略システムGEOSISの開発を推進
- ・アライアンスにより、2018年1月、道路区画線診断システム「ROAD VIEWER」を開発し、異業種・異業界にむけたシステムの提供を開始

森林関連業務

- ・森林ICTプラットフォームの導入を全国に展開し、地方自治体や森林組合からの受注に取り組む
- ・2017年6月期に開発したWebGISエンジンが森林ICT案件の配信モデルのベースとして採用
- ・地方自治体より、GIS以外の森林案件である山林調査の業務を受注



中期経営計画 I (2016/07-2019/06)総括 専門特化④BPOソリューション拡張

健康関連サービスの創出、改良を推進
パートナーと連携した営業活動やセミナー実施などにより拡販にも注力

健康関連サービスの創出

- ・2017年3月 「ストレスチェックパッケージサービス英語版」提供開始
- ・2017年5月 クラウド型の健康管理システム「LIFEDESK」提供開始
- ・2017年10月 「従業員満足度調査パッケージサービス」提供開始
- ・2018年7月 組織の健康状態を見える化する「HPMスコア診断サービス」提供開始

市場浸透

- ・自社単独やパートナー企業と共催での健康経営セミナーの実施
- ・Webでの販売促進活動に注力

EAP関連業務

- ・2015年12月より義務化されたストレスチェックの関連業務は、
毎期200百万円超の売上を計上し一事業として定着



※EAP：従業員支援プログラム。Employee Assistance Programの略

※HPM：健康経営。Health and Productivity Managementの略。「健康経営®」はNPO法人 健康経営研究会の登録商標です

中期経営計画 I (2016/07-2019/06)総括 部門別採算管理制度ウィングシステム

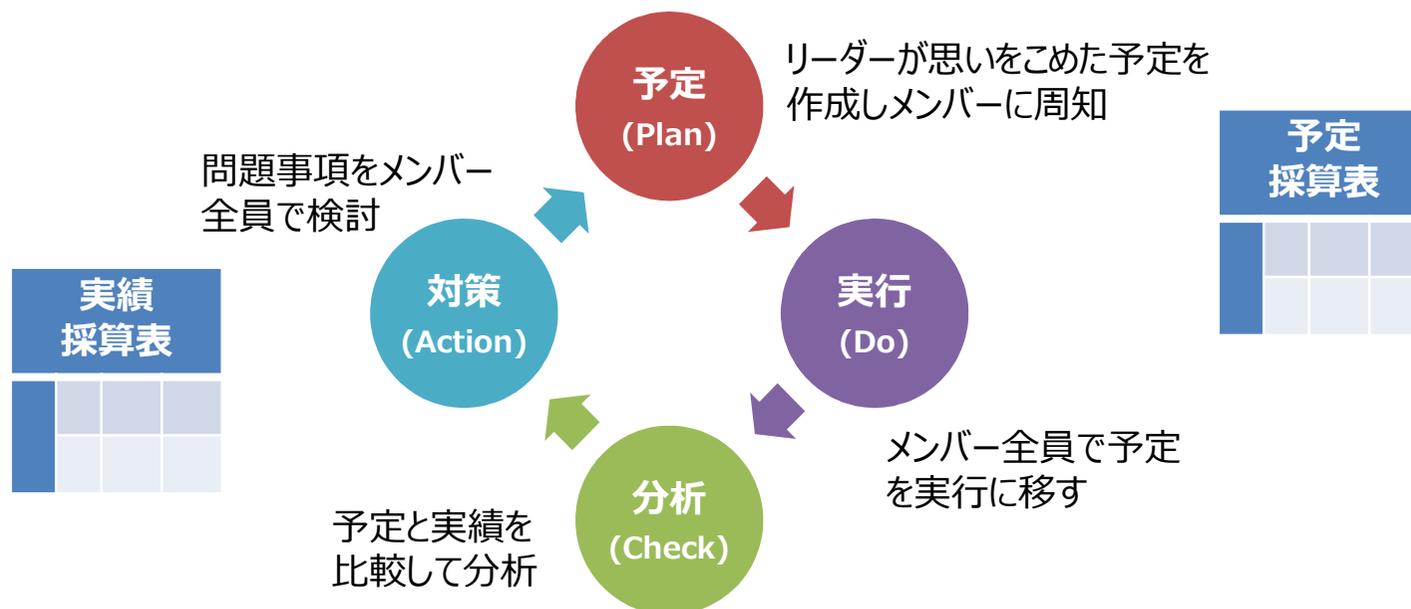
2017年6月期よりグループ全社で導入。

グループ各社では、時間当たり採算表(実績)の作成を進め、指標「時間当たり付加価値」を活用した小集団ウィングごとの採算管理を実施。

アクモス単体では、期首に年間計画であるマスタープランも作成し、PDCAサイクルを回しながらの採算管理を推進。

当社の時間当たり付加価値の計算式

$$(\text{収入} - \text{労務費以外の経費}) \div \text{総時間} = \text{時間当たり付加価値}$$



2020年6月期 業績予想

売上高、経常利益は増加する見込みも、2019年6月期には特別利益として抱合せ株式消滅差益14百万円を計上したこと、2020年6月期は税務上の欠損金がなくなり税金費用が11百万円程度増加する見込みであることから、当期純利益は2019年6月期と同水準の見通し。

連結	2019年6月期	2020年6月期	
	通期実績	通期予想	
売上高	4,698百万円	4,800百万円	2.2%
営業利益	353百万円	385百万円	8.9%
経常利益	354百万円	385百万円	8.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	250百万円	250百万円	—
1株当たり当期純利益	25.86円	25.77円	—
株主資本利益率 (ROE)	15.0%	13.0%	—
営業利益率	7.5%	8.0%	—

単体	2019年6月期	2020年6月期	
	通期実績	通期予想	
売上高	3,007百万円	3,105百万円	3.3%
経常利益	236百万円	273百万円	15.2%
当期純利益	192百万円	190百万円	▲1.2%
1株当たり当期純利益	19.83円	19.59円	—

※ 2020年6月期の予想数値は、発表日時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合がございます。

株主還元

安定的な期末配当の継続を目指す

2019年6月期の期末配当は、1株当たり5円を予定しており、2019年9月26日開催予定の第28回定時株主総会に付議いたします。

2020年6月期の期末配当予想は、1株当たり5円としております。

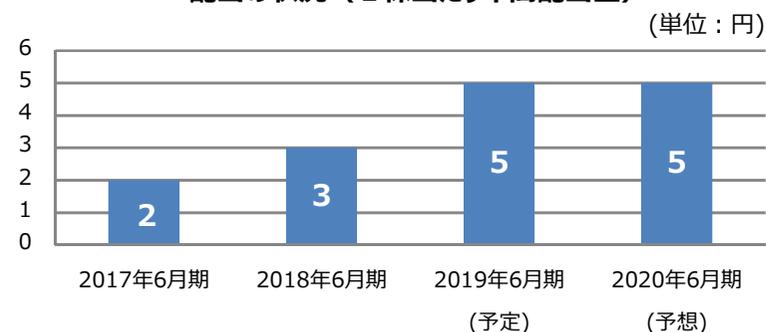
配当政策

当社は株主の皆様に対する安定的な配当の実現を中長期的な重点課題として位置づけ、利益配分に関する基本方針に基づき配当を決定しております。

【利益配分に関する基本方針】

- 単体当期純利益に対する**配当性向30%**を目標に、連結業績と内部留保を勘案し、配当を行う
- 配当原資確保のための収益力向上を図る
- 財政基盤の強化に努める

配当の状況（1株当たり年間配当金）



対処すべき課題

リスクマネジメントに関する課題

- ・社会インフラや行政サービスを支えるIT企業グループとして、いつもどんなときも、お客様に安心してお使いいただける安全なサービスの提供に努めるとともに、社員とその家族が安心して業務に従事できる環境の整備を推進。
- ・情報システムに対する脅威に対処し、機密情報や個人情報等の漏えい防止に努める。

グループ事業全般に関する課題

- ・営業力を強化し、お客様からの継続的な受注案件の確保に努め、安定的な売上計上を図る。
- ・受託開発分野においてプロジェクトの採算管理や品質の向上により、収益性の向上を図る。
- ・人員の確保と育成、労働環境の整備により、グループの持続的成長を目指す。ITソリューション事業においては、ビジネスパートナー企業との連携を深め、安定的な技術者の確保に努める。
- ・専門分野である「業種特化型ICT(自治体,消防,防災,宇宙,自動車)」「情報セキュリティ」「医療」「健康・教育」において製品・サービスの提供を推進し、お客様の事業の成長やセキュリティリスクの低減に貢献する。拡販においてはアライアンスを推進し、受注拡大に努める。



参考資料

アクモスグループ事業

当社グループは、事業持株会社の当社及び連結対象の子会社3社で構成されており、事業セグメントの区分をITソリューション事業、ITサービス事業の2つに分類しております。

ITソリューション事業



ネットワーク構築



SI・ソフトウェア開発



システム運用監視



医療情報システム



地図情報提供サービス

ITサービス事業



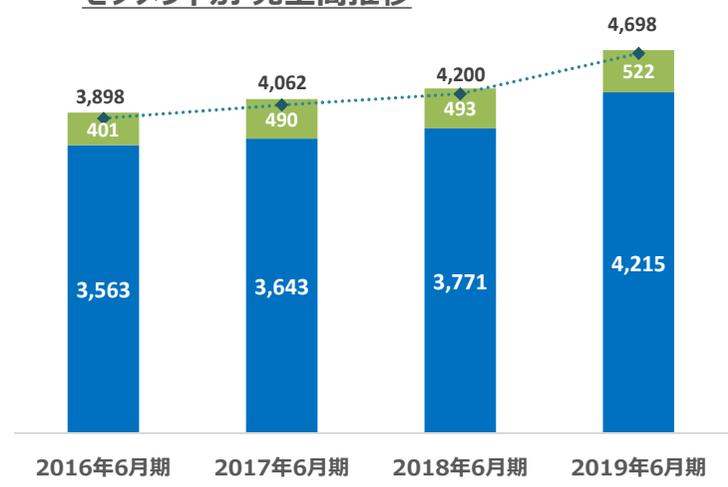
情報処理サービス



ビジネスプロセスアウトソーシング

セグメント別 売上高推移

(単位：百万円)



アクモスグループ一覽

アクモス株式会社

設立 1991年8月 資本金 6億9,325万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
TEL : 03-5217-3121 FAX : 03-5217-3122 URL : <https://www.acmos.co.jp>
お問合せ先 hp_biz@acmos.co.jp
主要取引先 株式会社日立製作所、富士通株式会社、官公庁、茨城県、東日本電信電話株式会社、KDDI株式会社、株式会社常陽銀行 他



ACMOSソーシングサービス株式会社

設立 1981年3月 資本金 1,300万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
TEL : 03-5217-3332 FAX : 03-5217-3334 URL : <http://www.acmos-ss.jp>
お問合せ先 info@acmos-ss.jp
主要取引先 日本電気株式会社、NECソリューションイノベータ株式会社、東京医科大学病院、株式会社インテック、日野自動車株式会社 他



株式会社ジイズスタッフ

設立 1997年3月 資本金 5,000万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
TEL : 03-5217-3131 FAX : 03-5217-3134 URL : <http://www.gstf.jp/>
お問合せ先 inquiry@gstf.jp
主要取引先 官公庁、大学、民間企業、労働組合 他



ASロカス株式会社

設立 1980年1月 資本金 1億円
所在地 〒290-0056 千葉県市原市五井3926-1
TEL : 0436-24-0374 FAX : 0436-24-2116 URL : <http://www.as-locus.jp/>
お問合せ先 sales@as-locus.jp
主要取引先 株式会社昭文社、一般財団法人消防防災総合センター、林野庁、八王子市他官公庁 他



2019年6月末現在

連結貸借対照表(要約)

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	1,619,448	2,023,322	買掛金	144,120	143,015
受取手形及び売掛金	567,302	615,695	短期借入金 ※2	318,330	195,495
たな卸資産	82,843	52,051	未払金	159,820	197,916
その他	33,087	35,015	未払費用	328,204	387,663
流動資産合計	2,302,681	2,726,084	その他	157,533	296,420
有形固定資産	204,613	193,383	流動負債合計	1,108,008	1,220,510
無形固定資産	49,735	60,222	長期借入金	5,575	58,480
投資その他の資産	167,404	135,522	その他	1,069	810
固定資産合計	421,753	389,128	固定負債合計	6,644	59,290
			負債合計	1,114,653	1,279,800
			純資産の部		
			株主資本合計	1,553,993	1,775,730
			その他の包括利益	10,895	10,957
			累計額合計		
			非支配株主持分 ※3	44,892	48,724
			純資産合計	1,609,781	1,835,413
資産合計	2,724,434	3,115,213	負債純資産合計	2,724,434	3,115,213

※1 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を2019年6月期第1四半期の期首から適用しており、2018年6月期については、当該会計基準等を遡って適用し表示しております。

※2 長期借入金（1年以内）を前期末に66,660千円、当期末に55,495千円含んでおります。

※3 連結子会社ASロカス株式会社は、株式会社昭文社が株式の19%を所有しております。

連結損益計算書(要約)

(単位：千円)

	2018年6月期	2019年6月期		
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	4,200,704	4,698,233	497,529	11.8%
売上原価	2,926,079	3,218,988	292,909	10.0%
売上総利益	1,274,624	1,479,244	204,619	16.1%
販売費及び一般管理費	1,061,594	1,125,630	64,035	6.0%
営業利益	213,029	353,613	140,583	66.0%
営業外損益	5,594	531	▲5,063	▲90.5%
経常利益	218,624	354,145	135,520	62.0%
特別損益	▲1,878	※ 12,570	14,448	—
税金等調整前 当期純利益	216,746	366,715	149,968	69.2%
法人税等	47,557	111,363	63,805	134.2%
非支配株主に帰属する 当期純利益	1,892	4,516	2,623	138.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	167,296	250,836	83,539	49.9%

※ 2019年6月期には、非連結子会社であった株式会社エクスカルを吸収合併したことによる、
抱合せ株式消滅差益14,433千円が含まれております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：千円)

	2018年6月期	2019年6月期	増減	
	期末	期末		
営業活動によるキャッシュ・フロー	290,612	487,675	197,063	67.8%
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲18,592	▲57,783	▲39,190	210.8%
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲79,783	▲99,383	▲19,599	24.6%
現金及び現金同等物の増減額	192,236	※ 330,509	138,273	71.9%
現金及び現金同等物の期首残高	1,378,800	1,571,036	192,236	13.9%
現金及び現金同等物の期末残高	1,571,036	1,974,908	403,871	25.7%

※ 2019年6月期には、非連結子会社であった株式会社エクスカルを吸収合併したことに伴う増加額73,361千円が含まれております。

単体貸借対照表(要約)

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	1,009,583	1,277,477	買掛金	104,921	110,841
受取手形及び売掛金	437,352	440,644	短期借入金	230,000	135,000
たな卸資産	53,935	30,393	未払金	80,304	100,063
その他	42,304	47,062	未払費用	221,983	255,330
流動資産合計	1,543,175	1,795,577	賞与引当金	12,237	16,682
有形固定資産	164,984	159,276	その他	147,141	232,328
無形固定資産	10,601	18,032	流動負債合計	796,586	850,246
投資その他の資産	573,969	536,570	長期借入金	0	0
固定資産合計	749,555	713,879	その他	1,069	810
			固定負債合計	1,069	810
			負債合計	797,655	851,056
			純資産の部		
			株主資本合計 ※2	1,484,179	1,647,442
			評価・換算差額等合計	10,895	10,957
			純資産合計	1,495,075	1,658,399
資産合計	2,292,731	2,509,456	負債純資産合計	2,292,731	2,509,456

※1 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を2019年6月期第1四半期の期首から適用しており、2018年6月期については、当該会計基準等を遡って適用し表示しております。

※2 前期末・当期末ともに、自己株式▲53,911千円を含んでおります。

単体損益計算書(要約)

(単位：千円)

	2018年6月期	2019年6月期		
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	2,655,190	3,007,111	351,920	13.3%
営業利益	116,314	217,052	100,737	86.6%
経常利益	141,873	236,966	95,092	67.0%
当期純利益	126,742	192,361	65,618	51.8%

■ 本資料について

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。今後、当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、需給関係等の変化にともない、業績見通しに変更される可能性があります。

また、本資料は、当社の株式購入など投資を勧誘する目的で作成されたものではありません。

なお、本資料の将来の見通しについての記述に関しましては、法令上その手続きが必要となる場合を除き、事前の予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

アクモス株式会社 経営企画管理部

TEL : 03-5217-3123

HP : <https://www.acmos.co.jp/>